

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 10 日

事務事業名		成人式開催事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020303000646
						単独/補助	単独	所属課	090601
政策体系	総合計画の施策名	0203 青少年の健全育成				主要事業		生涯学習課	
	政策名	02 生きがいを育む学びのまちづくり				市長マニフェスト			
	施策名	03 青少年の健全育成				未来PJ事業		グループ 生涯学習G	
	手段名	03 ③地域教育力の充実				合併建設計画事業			
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	05	01	02	00	社会教育総務事業		
法令根拠						単年度繰返し (年度~)			
						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
成人に達した成年男女の新しい門出を祝福するとともに、成人としての自覚を持ち、市民としての意識を高めることを目的とする。市、実行委員会の共催により、1月第2日曜日(成人の日の前日)にはたちの集いを開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・式典開催の広報 ・対象者の抽出作業 ・実行委員の募集、実行委員会の開催 ・対象者、来賓者への通知発送 ・式典開催準備 ・警察等への警備依頼 ・記念品(記念写真)の契約 ・記念品発送者リスト作成

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
はたちの集い実行委員を募集し、実行委員会を開催する。該当者、来賓の方に案内通知を発送する。式典の準備を行う。「はたちの集い式典」を開催する。記念品発送者リストを作成し、契約業者へ発送依頼する。	実行委員会の開催数	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
	式典開催数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
新成人(市内在住者及び出身者)	新成人者該当者数	人	468.00	451.00	416.00	400.00	400.00
	式典参加者	人	376.00	364.00	330.00	330.00	330.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
大人になったことを自覚し、自分の行動に責任のとれる人になる	式典参加者割合	%	80.30	80.70	81.70	82.50	82.50
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移		28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	国庫支出金 千円	0	0	0
		県支出金 千円	0	0	0
		地方債 千円	0	0	0
		使用料・手数料 千円	0	0	0
		その他 千円	0	0	0
		一般財源 千円	943	1,029	1,103
	事業費計(A) 千円	943	1,029	1,103	
人件費	正規職員従事人数 人	2.00人	1.00人	1.00人	
	述べ業務時間 時間	675.05	600.00	600.00	
	人件費計(B) 千円	1,975	1,755	1,755	
トータルコスト(A)+(B) 千円		2,918	2,784	2,858	

事業費の内訳	29年度事業費 実績(千円)		30年度事業費 予算(千円)	
	08 報償費	1,004	08 報償費	1,076
	11 需用費	25	11 需用費	27
	合計	1,029	合計	1,103

(4) 当該年度の実施内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業			

事務事業名	成人式開催事業	事務事業No.	20303000646	所属課	生涯学習課
-------	---------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
旧村町で開催されていた成人式典を合併により統一して実施することとなった。新成人者数は減少傾向にあるが、出席率は例年80%を超えている。また保護者の見学者が増加傾向にある。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
毎年テレビ等で報道されている地域があるが、桜川市は穏やかな式典が開催されている。市のイメージアップにも繋がっている。出初式と日程が重なってしまうため、担当課との話し合いが必要である。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
現状維持	毎年広報やHPで実行委員を募集するが、なかなか応募がないのが現状のため、中学校へ卒業生の中から実行委員を予め選任していただくよう依頼して名簿を提出してもらった。併せて該当年度に達したときに通知するための卒業生名簿の提出も依頼した。 該当者減少に伴い、全体の記念写真を撮る時間が短くなっているため今年度から簡易的な個人・少人数用の写真スペースを設置した。
【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。	

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	成人として、大人になったことを自覚し、人生の節目を迎えることを意識するのは地域として大きい意義がある。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	成人教育の一環として式典を開催することで、成人としての自覚を促す。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	年々減少する新成人を対象としているため、人数の拡充は見込めない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	成人式は一生に一度の記念式典のため廃止はできない
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	類似事業がないため統廃合はできない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	案内通知、式典準備経費及び参加者への記念品などの事業費のため削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	新成人に該当する市内出身者と市内在住者を対象としているため公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																					
		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		成果	低下	
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
成果	低下																						
	(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						
		(6) 事務事業優先度評価結果																					
		成果優先度評価結果	⑧																				
		コスト削減優先度評価結果	①																				

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>